

数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム
四国ブロック運営会議議事要旨

1. 日時 令和4年12月26日(月) 14時50分～16時5分
2. 場所 香川大学 OLIVE SQUARE 教職員交流ラウンジ
遠隔 (Zoom ミーティング)
3. 出席者
徳島大学：[教員] 寺田 (遠隔参加) 大藪 (遠隔参加)
[事務職員] 齋藤 (遠隔参加)
鳴門教育大学：[教員] 宮口 (遠隔参加) 阪東 (遠隔参加)
[事務職員] 河野 (遠隔参加) 小野 (遠隔参加)
愛媛大学：[教員] 平野、尾國 (遠隔参加) 松浦 (遠隔参加) 本田 (遠隔参加)
高橋 (遠隔参加) [事務職員] 和氣家 (遠隔参加)
高知大学：[教員] 佐々 [事務職員] 阿賀 (遠隔参加)
香川大学：[教員] 高橋、林 [事務職員] 藤沢、萬木

開会に先立ち、高橋議長より挨拶及び令和4年12月5日に開催された数理・データサイエンス・AI教育コンソーシアム第2回運営会議の概要について説明があった。また、司会進行は、高橋議長の指名により林教授(香川大学)が行うこととなった。

4. 審議事項

(1) 四国ブロック運営体制及び運営に関する申し合わせについて

高橋議長より、資料1-1と資料1-2に基づき、四国ブロック運営体制及び運営に関する申し合わせについて提案があり、承認された。なお、本申し合わせは令和5年3月30日に開催する数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム四国ブロック総会に諮ることとなった。

(2) 四国ブロックの次年度の活動計画について

高橋議長より、資料2に基づき説明があり、運営会議等の持ち回り開催について提案があり承認され、次年度第1回運営会議(5月から7月に開催)は、高知大学が担当(開催場所の確保等)することとなった。またワークショップの開催については、県単位でのヒアリング実施の結果から県域開催等のニーズを把握し、対象者及び遠隔開催等の詳細を次年度第1回運営会議で検討することとした。

5. 報告事項

(1) 各大学の県単位でのヒアリング実施状況について

各大学から、県単位でのヒアリング実施状況について報告があった。

大学からのヒアリング実施状況報告内容に対する質疑応答があり、以下の事項について、情報共有及び意見交換が行われた。

- ・各県の学術ネットワーク及びプラットフォームの活用について
- ・専門職大学及び短期大学が数理・データサイエンス・AI教育強化事業の対象か否かの文科省への問い合わせについて
- ・数理・データサイエンス・AI教育強化事業とデジタル人材育成事業との棲み分けについて

(2) 教員ニーズ調査の結果について

高橋議長より、資料3に基づき教員ニーズ調査について報告があった。

- ・高橋議長より、教員ニーズ調査及びヒアリング（インタビュー）の結果を踏まえて四国経済産業局へ相談したいとの発言があった。

その他

- ・大藪准教授（徳島大学）より、徳島大学のオンラインでの勉強会を四国ブロックの活動とすることについて、学内の承諾が得られたとの報告があった。
なお、周知の仕方については、今後検討することとなった。

以上